

夕刊 行日八十二月一 本報 電話 〇七五五

繪の賞費と云ふ事に就て

嘗て私は朝鮮に遊びかゝるは、或る有名な金剛山を採り、或る都の生活を田舎の風物と...

海 島田松子

血管を看立て、通血脈のいろ見つけ、ともしさ一人臥りぬて...

拈華微笑

舟の魚も逃げ 女僧か十一人 長鞭は馬に馬腹 法網と云ふのは...

理解のない父

暮六山人 薄曇りの午後のこと 處女俱樂部を讀んで...

空 盧

えいさぶらう はじき飛んだ石に 淡いわびしさを感じて...

中川 浩

灰色の太陽は流れては 旅人をおもはせる 旅人をおもはせる...

お蘭のお蝶

渡邊 龍雄 露背に白肌すれば心の底 母の左兵衛は「まんなら...



痛かつたので出ることな 京都を出発して高知へ 高知にいたるに...

豆まきの會 恒例により二月三日の舊止九日午後 一時から縣社子館倉庫に於て...

福は内會 豆まきの會 春の會 恒例により二月三日の舊止九日午後...

金銀高價買入 根本時計店 平町二丁目(三幸堂跡) 電話六〇七番

産科 婦人科 花柳病科 井阪醫院 平町町(元合津醫院跡) 電話五五九番

淋薬界の最高權威 無効返金 別府皮膚薬 金三十銭

暴騰をよそに超廉賣!! 學生靴 紳士靴 大塚製靴部

築港怪聞の中心人物 愈々起訴豫審に附とる

長鞭竟に馬腹に及んで 内務技師の瀆職事件表面化

舟舟の巨魚に法網より逃する事が出来ず追及の内務省技師高等官三等も如月近き八幡小路の宿屋を寒夜を被りて閉居し呻吟する事となるべく顧らるるに至り客來地地方の耳目を驚かせしめた小名濱築港工事の怪聞事件は漸く清算に入らんとしつつある

検挙の端緒

小名濱築港の怪聞に關する一行が小名濱町に出張本人の登場人物として内務省技師高等官三等も如月近き八幡小路の宿屋を寒夜を被りて閉居し呻吟する事となるべく顧らるるに至り客來地地方の耳目を驚かせしめた小名濱築港工事の怪聞事件は漸く清算に入らんとしつつある

愈々中の作修港着手

江名町中の作修築港工に因り赤土部長は明二十九日式は愈々明後三十日午後後島島湯本町一泊、前時から舉行するが當日は起工式臨席後附近の事業所から赤土内務部長及土肥現場を視察の上午後自動車土肥現場に出張臨席する、にて石川郡に向ふと

慰問基金の残を 町村長會へ寄附

郡出身在滿兵後援事業打切り 平町諸橋久次郎、小田吉次五百八十四圓五錢を今二十兩氏發起の在支軍人慰問會八日郡町村長會に寄附し同ては郡下より一千九百九圓三圓から明二十九日の凱旋兵十圓の慰問基金を募集し既祝賀會の酒肴料として一人に郡出身軍人のため四百五十三圓宛を贈り他は事業突發十五圓廿八錢を支出し大に以來後援の支援として活躍慰問の實を擧げたが此程第方面へ分配せられる管二師團が歸還したので残額である

正月の小遣錢を 満洲の兵隊さんへ

第二校三年生松本さきみ子さんの 優しい心がけ 平町田町一九第二校三年生松本さきみ子さんは昨二十七日

萬引跳梁十一名

昨日平署の檢舉數 大浦村塚原路四七(六)はれた 昨二十七日午後二時半頃平署一丁目伊田商店と三丁目三井呉服店から錦紗反物約一千名減 買ひ初めの平署外敷點價格百餘圓を萬引しインフレ景況増加を豫想して平署に檢舉されたが同日の買初に於けるは之の外に男三名、女七名平署の乗降は八千九百二十が萬引現行犯として檢舉さ七名で約千名の減であつた

結婚が厭で家出

好む女給生活に入るべく 徘徊中平署員が發見保護 昨廿七日午後二時半頃平署一丁目伊田商店と三丁目三井呉服店から錦紗反物約一千名減 買ひ初めの平署外敷點價格百餘圓を萬引しインフレ景況増加を豫想して平署に檢舉されたが同日の買初に於けるは之の外に男三名、女七名平署の乗降は八千九百二十が萬引現行犯として檢舉さ七名で約千名の減であつた

盗んだ品を行商

内郷の圖太い若物捕はる 昨二十七日午後六時頃平町に當る新瀧縣西浦原郡月湯町で二六日晝夜二回江二丁目錦嘉酒店倉庫から九村月湯青柳太郎から三百名劇場と江名館で二十九日入引三村を盗み出し江名の劇場車に積んで引出さし平署に捜索方を願ひ出た 盗み出しを行商して居た 萬六千二百五十三名、女七名を白引引續き取調へ中 二千四百七十八名で主なる町村別左の如し

無残の焼死

ガンの火で 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた

子殺し未遂

豫審終結公判へ 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた

平商生好望

既に廿五名決定 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた

警中人國記

赤井嶽男記 第五回生の巻 K 山部氏の續き 山部氏の續き 山部氏の續き 山部氏の續き 山部氏の續き 山部氏の續き 山部氏の續き 山部氏の續き 山部氏の續き 山部氏の續き

結核が厭で家出

好む女給生活に入るべく 徘徊中平署員が發見保護 昨廿七日午後二時半頃平署一丁目伊田商店と三丁目三井呉服店から錦紗反物約一千名減 買ひ初めの平署外敷點價格百餘圓を萬引しインフレ景況増加を豫想して平署に檢舉されたが同日の買初に於けるは之の外に男三名、女七名平署の乗降は八千九百二十が萬引現行犯として檢舉さ七名で約千名の減であつた

烈風中の晝火事騒ぎ

原因は小兒の弄火と判明 昨二十七日午後一時頃平町に當る新瀧縣西浦原郡月湯町で二六日晝夜二回江二丁目錦嘉酒店倉庫から九村月湯青柳太郎から三百名劇場と江名館で二十九日入引三村を盗み出し江名の劇場車に積んで引出さし平署に捜索方を願ひ出た 盗み出しを行商して居た 萬六千二百五十三名、女七名を白引引續き取調へ中 二千四百七十八名で主なる町村別左の如し

平商生好望

既に廿五名決定 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた

子殺し未遂

豫審終結公判へ 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた

平商生好望

既に廿五名決定 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた 湯本町實海すみの二女三宅みや(四)は昨二十七日午後一時頃自宅前で遊戯中ガンの火が着衣に移り無残な焼死を遂げた

七十銀行第貳期 貸借對照表

(昭和七年十二月三十一日現在)

現金	五、九百九十九圓
預金	一、〇〇〇、〇〇〇圓
貸付	一、〇〇〇、〇〇〇圓
負債	一、〇〇〇、〇〇〇圓
資本	一、〇〇〇、〇〇〇圓
利益	一、〇〇〇、〇〇〇圓
損失	一、〇〇〇、〇〇〇圓
合計	一、〇〇〇、〇〇〇圓

松村醫院

院長 松村鐵郎
平町南町電一〇七

前田醫院

院長 前田清美
植田町電話二二四

市原病院

院長 市原卯太郎
平町南町電一〇七

増田醫院

院長 増田鐵郎
電話 四八二番

廣 告

伊澤平左衛門
山田久右衛門
中村梅三
佐久間俊吉
山田久右衛門
中村梅三
佐久間俊吉

阿部材木店

建築材 入 阿部材木店
電話 四九四番

七十銀行

昭和三十八年一月二十六日
右之通に候也